

動き出した活動

秋恒例の催事も平常に戻りつつあり、10月、11月の2ヶ月で100人に迫るボランティア活動の報告がありました。ボランティア相談員一同、ご理解とご協力に感謝しています。

ボランティア活動調整報告 【当ボランティアセンター取り扱い調整分(施設・団体に限る)】

月	日	活動先(施設・団体)	活動分野	活動内容	人数	対応(V・校区・団体)
10	7	萱島南町自治会福祉部会	高齢者	行事援助	5	トパーズ
	10	下神田町喜楽会	高齢者	行事援助	4	ブリッジこだま
	15	特別養護老人ホーム合掌荘	高齢者	行事援助	24	JESY・柚子華 三井校区 個人
	21	西校区福祉委員会	一般	行事援助	20	柚子華 ケ・オル・マカニ・ ナ・プア・オナオナ
11	11	天満天神の会	一般	行事援助	1	個人
	12	ねやキッズ実行委員会	児童	行事援助	13	国松緑丘・中央・東校区・個人
	14	生活協同組合おおさかパルコ デイサービスねやがわ	高齢者	行事援助	3	夢楽ライブ「一座」
	18	西校区地域協働協議会	一般	行事援助	6	個人・わくわく音楽隊
	21	アルソックライフサポート ねやがわデイサービス	高齢者	行事援助	3	夢楽ライブ「一座」
	21	要約筆記サークル「バンビ」	一般	行事援助	1	個人
	23	池の里クラブエンジョイスポ ーツ Day	児童	行事援助	12	桜・池田・西校区・個人
	26	野崎フォークジャンボリー	一般	行事援助	5	トパーズ
		12			97	

令和5年10月～11月 集計：のべ活動日数 12日 活動人数 97人

福祉用語の小部屋

ソーシャル・インクルージョン

すべての人びとを孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念で、社会的排除(失業、技術及び所得の低さ、粗末な住宅、犯罪率の高さ、健康状態の悪さ及び家庭崩壊などの、互いに関連する複数の問題を抱えた個人、あるいは地域)に対処するための政策課題の一つとされている。

ボランティアセンターでは、毎週、月・水・金曜日の午前10時から午後3時まで、9人のボランティア相談員が交替で、皆さんのお越しや相談をお待ちしています。

ボランティア相談員

野涯 周子	新宅 智子
衣川小夜子	山崎 祥子
大富まゆみ	尾崎 和子
中村 順一	宮崎 静美
斎藤 和子	

※「ボランティアセンター通信」は共同募金配分金を活用して発行しています



ホームページ ツイッター インスタグラム フェイスブック

編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター
電話：072-838-0400
URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

上記のQRコードを携帯電話やスマートフォン等から読み取ると、本会の各SNSページにつながります。

ボランティア活動の熱い思い集結 ～河北ブロック交流会～

大阪府市町村ボランティア連絡会「河北ブロック交流会」を11月28日に7市の登録ボランティアグループはじめ関係者参加のもと、寝屋川市立市民会館小ホールで開かれました。



グループトークでは活動についての多くの意見が飛び交いました

開会のあいさつ、開催市の活動発表、グループトークと続きました。

第1部の活動発表ではギター演奏に始まり4登録団体が日頃の活動を披露。

第2部は交流会。「未来につなごうボランティア」をテーマに4グループに分かれて、それぞれの思いを話し合いました。

□■皆さんの思いは… ■□

- 他市の状況が聞いて良かった。皆同じ仲間なんだと実感できた。
- 他市のグループの方々の意見や活動の様子が聞いて良かった。当市でも参考にしたい。
- 寝屋川市の活動発表を興味深く拝見。

○第2部では各市の生の声が聞けたので参考にしていきたい。

- 自分たちの団体と悩みが同じで、なんとか仲間を集めてやっていかななくてはと思う。
- 寝屋川のみなさんがとても活気があり、元気をもらうことができた。
- 「未来につなごうボランティア」のテーマは結構難しかったが、他市の活動仲間の意見も聴くことができた。その中から「ボランティアすることの、できることの喜び」を未来に引き継いでいけば良いのでは。
- 点から線に、線から面へ。あきらめないで続ける！大事なこと。

※本紙中「社協」は寝屋川市社会福祉協議会、「V」はボランティアのことです

福祉委員会紹介

お母さんと赤ちゃん
10人のボランティア

東校区子育てサロン

子育てサロン代表の佃さんに子育てサロン(11月7日)についてお話を伺いました。

当日の参加者はお母さんと赤ちゃんの2組。10人のボランティア(現民生委員とOB)の見守りの中、10時から始まりました。この日の

テーマは「落ち葉を使って秋を楽しもう」。

お母さん達は、画用紙やビニールボールに落ち葉を飾り、秋アート製作を楽しみながら、交流しながらのリラックスタイムになりましたが、これがサロンのめざすところだそうです。

赤ちゃんは絵本の読み聞かせを楽しんだり、全員で「どんぐりころころ」を歌いながら終了。

その後、ボランティアは反省会に移ります。

今回は活動のグレードアップのための研修会(講師は社協職員)も開いたそうです。



スタッフの優しい眼差しを受けながら、読み聞かせを楽しむ。机上には秋色落ち葉がいっぱい

佃さんからは「ボランティアは一人ひとりが主役であり、チームワークが素晴らしいので、これからも勉強し磨いていきたい。20年続いているこのサロンに出会いと喜びや楽しみが詰まっている。楽しいサロンを目指すとともに、サロンの発展を望んでいる」との思いが寄せられました。(斎藤・宮崎)

V活動依頼時の道しるべ
「登録ボランティアグループ」手引き完成

「登録ボランティアグループ」の新しい冊子が発行されました。

当冊子には社協のボランティアセンターに登録の49グループの情報が満載。活動依頼時に活用できます。

高齢者施設からは「写真入りで、グループの活動内容などがわかりやすく、ボランティアをお願いするとき、とても参考になります」との声が寄せられています。

※社協ボランティアセンターで配布しています



4年ぶりの開催に2,000人の参加
木屋校区ふれあいまつり



「いらっしゃいませ〜まきどり(吹き戻し)は何色にしますか」かわいいお客さんに対応する模擬店の店員さん

11月23日、4年ぶりに「木屋校区ふれあいまつり」が開かれ、約2,000人が参加。開会時間前から、多くの子供たちや地域の人たちが、会場の木屋小学校のグラウンドに列をつくり、地域のみなさんが「ふれあいまつり」の再開を待ち望んでいたことが伝わってきました。

木屋校区福祉委員会からは、ワッフル・菓子パン・コーヒー・まきどりの模擬店を

出店。模擬店の前では、子供から高齢者まで、年代を超えて楽しそうに交流している様子が見られました。

木屋校区福祉委員会の北口要委員長は「この『木屋校区ふれあいまつり』は単なる楽しいだけのイベントではなく、地域の絆を強める場です」と。

福祉委員会と地域協働協議会、PTAが連携しながら、地域の多世代交流の場がつけられていました。

(寺本)



テントの下では楽しい会話が弾み、さらに絆が強くなります

見やすい・使いやすい!!
評判の「V手帳」受付中

「ふれあい愛ボランティア」の手帳(2023, 12~2026, 3)が発行されました。

ボランティア部会のSさんは「使いやすいサイズ。また数年度に渡って使用でき、とても便利。今ではボランティア活動の必須アイテムになっています」と話していました。



1冊400円(購入額の内1冊10円が共同募金会に寄付されます)